

会 議 録

作成月日	令和 7 年 8 月 29 日（月）	作成者職・氏名	政策企画係長 鈴木 達也
会議名称	令和 7 年度第 1 回大和町総合計画審議会		
開催日時	令和 7 年 8 月 21 日（木） 15：00～16：45		
開催場所	大和町役場 3 階第一委員会室		
出席者	○大和町総合計画審議会委員 16 名（別添名簿参照） ○町関係者：町長 浅野 俊彦 ○事務局：大和町まちづくり政策課 課長 遠藤 秀一，課長補佐 小野 ゆかり，係長 菅野 諭志，係長 鈴木 達也 ○委託業者：株式会社国際開発コンサルタンツ仙台支店 プロジェクトマネージャー 高橋 護、 専門役 阿部 政徳 （合計 23 名）		
議 事	（1）大和町第五次総合計画の改定（草案）について		
	司会進行：まちづくり政策課 遠藤課長		
事務局 （遠藤）	開会に先立ち本日の出席者数をご報告させていただきます。本日の審議会は、出席者 15 名，欠席者 5 名であり，大和町総合計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定に基づき，委員の半数以上の出席を賜っておりますので，会議が成立することをご報告申し上げます。		
	1. 開会		
事務局 （遠藤）	それでは，ただいまより令和 7 年度第 1 回大和町総合計画審議会を開催いたします。		
	2. 開会の挨拶		
事務局 （遠藤）	開会にあたりまして、平岡会長よりご挨拶を申し上げます。		
平岡会長	それでは改めまして皆さま、こんにちは。お忙しい中、また、猛暑の中、平日の午後にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。 このところ、他の市町で熊や自然災害の被害が起きている状況でございます。また、田んぼを拝見すると、稲穂がきれいに実っている状況ですので、これから台風シーズンになりますが、このままきれいに収穫できるようにと願っているところでございます。 今年度の第 1 回の総合計画審議会になりますが、今年は計 3 回の開催を予定しております。今日に至るまでに、庁内のプロジェクトチームや、町民ワークショップ、各地区の説明会等々が行われていて、だいぶ中身としては改定が進んでいるところでの第 1 回ということになっております。 今日、事務局から説明ありますが、第 2 回になるとほぼ改定の内容がまとめられ、第 3 回になるとほぼ完成形に近いかたちになりますので、1 回 1 回が大事な会議になっていきます。ぜひ委員の皆さま方には、忌憚のないご意見をいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。		

事務局 (遠藤)	続きまして、浅野町長よりご挨拶申し上げます。
浅野町長	本日は、お盆明けでお忙しいところ、令和7年度第1回大和町総合計画審議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。 また、皆さま方には、日頃より本町のまちづくり行政に対し、深いご理解とご協力を賜っておりますこと、重ねて御礼申し上げます。 8月3日には、まほろば夏祭りが開催されました。商業施設等の立地によりまして駐車場がなくなったことに加え、吉岡・吉田地区での市街化が進み、残念ながら花火の許可が下りないという中、実行委員会の皆さんと色々話し合った結果、総合運動公園を会場として開催をさせていただきました。 交通渋滞を招かないようシャトルバスを運行しましたところ、参加者は6,000人を超え、売店等々の売上も過去最高額となりました。 来年以降、どうかたちで実施すべきか、色々な反省点を踏まえ、実行委員会に再度仕切り直しをしていくことと思いますが、ご参加いただいた皆さんには大変ありがとうございました。 さて、昨年12月末に開催した審議会にてご説明したとおり、本町では、現在、1年間前倒ししての第五次総合計画の改定作業に取り組んでいるところです。 改定作業にあたっては、町職員で構成されるプロジェクトプランニングチーム会議や各課長等の会議のほか、一般住民の方も交えたワークショップや町民懇談会を開催し、そこでいただいた様々なご意見・ご提案をもとに、この度、第五次総合計画の後期計画の草案を作成いたしました。 草案とはいっても叩き台に近いものになりますので、本日は、皆さまにこの草案について、忌憚ないご意見をいただきたいと思います。 本日は、お忙しいところお集まりいただきまして改めて感謝申し上げますと共に、意義のある会議になりますよう、お願い申し上げます、挨拶といたします。
	3. 議事
事務局 (遠藤)	それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、条例第5条第1項の規定により、会長に座長をお願いいたします。 まずは、議事録署名委員の選出をしていただき、その後に議事に入っていただきますようお願いいたします。
平岡会長	それではここからは議事の進行をさせていただきます。 まずは、議事録の署名委員ですが、本日は松川会長職務代理がご欠席ですので、会長の私と若生様としますがよろしいですか。
一同	意義なし。
平岡会長	それでは、議事を進めたいと思います。 「(1) 大和町第五次総合計画の改定(草案)について」事務局は説明をお願いします。
事務局 (鈴木)	資料1・2により説明

平岡会長	只今、事務局から説明がありました。私から補足をさせていただきますと、資料1の1ページは、前年度の説明にもあった改定の経緯や期間の変更等について記載されています。 2ページが重要で、庁内のプロジェクトチームや町民懇談会などで色々な意見が出てきたところを色分けして大きく5つの方針がまとめられています。 方針1は、前回、第五次総合計画の策定にあたり、本審議会から企業誘致を求める意見があり、また、策定してからすぐに台湾の半導体進出の話がきて、その準備ができていたのかということで、今回は拡充した方がいいだろうというのが一つ大きな目玉となります。 方針2のデジタル化の拡充及び地方版総合戦略の変更については、内閣府からデジタル田園都市国家構想が示されており、その国の動きを踏まえての変更となります。総合計画を具体的に実施する大和町版の総合戦略にきちんと数値目標を設定して見直していくといった内容になります。 方針3は、昨年末に地方創生2.0という方針が国から出ていて、定住ということにこだわって、人口の奪い合いをするということだけではなく、二地域居住や観光を増やして交流人口を増やすような、関係人口を拡大させるといった考え方になります。 方針4は、前回の総合計画ではなかなか触れられていない地域性について、大和町といっても、場所によっていろいろ状況とか課題が違うので、そういった違う地区ごとに方針を示すものを追加するということです。今回は、都市部と農村部くらいの区分でいく予定とのことです。 方針5は、分野別施策の指標について、現在の総合計画には載せていないが、総合計画の基本計画にも採用して、総合戦略にも落とし込んでいくというものになります。 それでは、資料1について、皆さまからご質問、ご意見などをいただきたいと思います。何かございませんでしょうか。
文屋委員	方針5の分野別施策への評価指標の設定とありますが、農業については国に任せるだけでなく、町独自に動いていかなければいけません。 そのため、こういった評価の数値指標を設定することは非常にいいことだと思います。
平岡会長	総合計画に指標を載せている市町村もあるし、載せていないところもあります。現行計画では大和町は載せておらず、今回の改定にあたって新たに設定していくことになります。 その他、何かありませんか。
安海委員	知人に子供が生まれたとき、大和町から絵本5冊をいただいた話を聞きました。以前住んでいた市では何も支援がなかったので、とても感動しました。第三子に対する出生等の祝い金もあるとも聞いています。 学力については、各種検定制度に対しての補助があると聞いています。漢検や英検など、年代に応じた色々な検定がありますが、少なくとも、落合地区には情報が届いていない状況であり、情報提供が足りない気がします。

	また、検定料の補助だけではなく、例えばテキストを学校に配布し、それを活用して5分間の勉強を毎日積み重ねていけば、学力向上にもなるのかなと思います。 そのほか、検定を受けにわざわざ仙台市まで行くのが大変で、受験を諦める声も聞いています。たくさん受ける人がいれば、大和町でも会場を設定できるのではないかと思います。
出羽委員	受験者の数次第で可能です。
安海委員	学力向上にも繋がることなので、検定制度をもっと掘り下げ、手厚くみていただきたいと思います。 また、私は、大和町に生まれて育ったが大和町の良さを言えない。飛躍しすぎかもしれないが、大和町マイスターみたいな検定、そういう大和町の良さをもっと知ってもらうための何かがあればいいと思います。
浅野町長	検定試験はもっと広く周知をしたいということで学校関係者の方々に周知をお願いしているところです。初年度は、予算的なところもあり、中学生を対象に実施をしましたが、今年度は対象を小学校4年生以上に広げています。 学力向上はもちろん、資格があると就職の際に有利だろうということも踏まえて始めた事業になります。ご意見を踏まて、教育委員会と検討していきたいと思っています。 また、大和町マイスターもどういったやり方がいいのか含め、案として頂戴し今後の課題とさせていただきます。
平岡会長	関連するお話として、資料2の23ページをお開き願います。 学力というと小学校から高等学校、受験をイメージしがちですが、最近、大学でも教科学習だけではなく、別の能力を見るようになってきています。 例えば「学力」ではなく「学ぶ力」と一文字入れるだけで、「地域社会から学ぶ力」とか「大人も学ぶ力」とか、大分印象が変わってきます。28ページの「(2) 学力向上プロジェクト」には、当然、子どもも含まれると思いますが、大人も学ぶ力を向上するとしたらよいのではないかと思います。 次に、資料1の6ページ、改定スケジュールをご覧ください。本審議会のスケジュールですが、第1回目となる今回は草案の審議、第2回目、おおよそ11月頃で素案の審議、第3回目の最終回が大体翌年2月頃であり、ほぼほぼこの内容でいきますよという原案の審議という改定スケジュールになっています。
平岡会長	それでは、資料2に移りたいと思います。 資料2について、皆さんから何かありませんか。
文屋委員	改定案として赤字で記載されていますが、その中で、取り消し線が入っているものはどういう意味ですか。例えば、31ページの「補助事業の拡大」が赤字で赤い線が引かれているが、これは削除される、やらないということですか。
事務局 (鈴木)	それは取り消し線であり、削除することになります。 「補助事業の拡大」については、この項目からは一旦削除し、27ページの「(1) 農林水産業振興プロジェクト」にまとめて記載することとしております。紛らわしく、申し訳ございませんでした。

事務局 (遠藤)	資料1の5ページ、農村部の取り組みのところに「農林水産業に対する補助事業拡充」という方針を謳っていますので、記載内容については庁内で検討させていただきます。
出羽委員	資料2の44ページ、緑の文字で書いてある「町外への留学」はどういった意味でしょうか。
事務局 (鈴木)	ワークショップで出た意見を反映したものであり、意味としては、町外での学習や、町外との交流する機会が重要ではないかとの意見から追記したものになります。
浅野町長	大和町は国内外のどの市町村とも姉妹都市を結んでいません。ただ、子ども達に町外を体験させたいと考えており、対面が一番良いとは思いますが、タブレット端末を使った交流など色んな交流の仕方を網羅できるような表現を検討したいと思っています。
出羽委員	他市町村の学生と交換するということは非常に重要であり、学生の社会性を育てます。ただ一方的に留学するのではなく、他校と交換し合うということで、その小学生、中学生なりが実際に行った経験を活かして、こんな経験をしてきましたということを自分の学校で発表できるということは、これからの大和町においても素晴らしいことになると思います。 実際そういった子どもたちがこれから大和町を担うのであれば、例えばこちらの方に移住して下さいとか推進するのも結構ですし、若い世代が戻ってくるような子育て、学校教育をしていくことが重要です。 そういう意味で町外への留学というのは大変素晴らしいことだと思いますが、この文面では分かりにくいと思います。
安海委員	かつては、子どもサミットのようなものをやっていたと記憶しています。
浅野町長	平成の大合併で色々な市町村が合併して、いつの間になくなってしまったものもあります。また、そういう繋がりを作っていきたいと考えています。
荒木委員	以前、サミットとして小学校6年生が各学校から1名ずつ、町の職員も同行して沖縄県にいったこともありました。
浅野町長	それに変わるものとして、トヨタ自動車の愛知県を訪問して、いろんな企業訪問や歴史を探索する会を設けていますが、そこも含めてどういう形がいいのか再考する時期なのかなという思いはあります。
平岡会長	その他、何かありませんか。
若生委員	29ページに「(1) 子育て支援プロジェクト」がありますが、子育てへの支援について町の施策の目玉としてはいかがでしょうか。例えば、現在、特別敬老祝い金として100歳の方に50万円支給していますが、出生したら50万円を支給するなど、子育て支援に注力してはどうかと思います。
平岡会長	ご意見ありがとうございます。 赤字の見え消しが気になりますが、29ページの「切れ目のない医療と～」の「医療と」が見え消しになっている箇所は、他にもありますか。
事務局 (鈴木)	基本計画中、子育ての分野にもあります。

平岡会長	その場合、重複を避けるとか、たくさん出てくると修正するのが大変など、そういう意味になるのでしょうか。大事なところは重複してもいいという考え方もありますし、部分的にみるとあったほうが良いと思うところもあります。 その他、何かありませんか。
君ヶ袋委員	ワークショップ見学のご案内をいただきありがとうございました。参加はできませんでしたが、ワークショップでどのような意見があったか知りたいです。今日、説明があるものだと思っていました。
事務局 (鈴木)	参加された方々の様々な立場から、色々な意見をいただきました。本日の議事録に合わせて、ワークショップの内容をまとめた資料を送付いたしますので、ご覧いただければと思います。
君ヶ袋委員	色々な意見が出たと思います。貴重な意見とか、大胆な意見とか、取り留めもない意見もあったかもしれませんが、そういう一つ一つが、見方によってすごく可能性を広げる考え方もその中に潜んでいる気がします。
事務局 (鈴木)	資料１の２ページに、ワークショップの一部の意見になりますが、落とし込んでおり、改定方針としてまとめております。 是非、後日送付する資料を見ていただきたいと思います。
平岡会長	私もオブザーバーとして３回参加しました。３分野、３グループにわかれて、３回のワークショップを実施しています。割と活発に議論がなされ、意見が出ていました。具体的などという意見かというのは覚えていませんが、大和町の色々な地域資源・資産等をもっと有効に活かしてはどうか、アピールした方がいいのではないかと、といった意見があったと記憶しています。 先ほどお話があったとおり、子育てとか教育というのが大和町の１つの魅力として充実させていくとのことですので、それについての意見もいただきました。 また、高校生も参加していて、高校生の立場からも意見が出てきていました。
出羽委員	私も、高校生や大学生などの意見を聞きたかったです。頼もしい意見があったらよいことだと思います。
平岡会長	地区別に説明会を行ったと思いますが、どのような意見がありましたか。
事務局 (鈴木)	やはり地域によってそれぞれ異なった課題があり、主に公共交通など生活の身の回りに関するご意見・ご提案を多くいただきました。直接、計画に反映できるような大まかな内容は少なかったと思いますが、これからの素案作成に反映できるものがあれば反映したいと考えています。
平岡会長	資料２の最終ページ、地域別方針の参考になったという感じでしょうか。
事務局 (鈴木)	はい。地区別まで落とせるかは分かりませんが、反映したいと思います。
平岡会長	２２ページの基本目標４「(２) 安全で安心できるまちづくりプロジェクト」が削除されたことにより、施策体系図から重点プロジェクトの⑧がなくなってしまいました。基本目標３「(２) 子どもの居場所づくりプロジェクト」で⑥が削除されているのは⑤に含むということでも可能かと思いますが、⑧が削除されると、この防災・防犯関係がどう扱われるのかというのが見えにくくなっていることが気になりました。

事務局 (鈴木)	地方創生 2.0 の柱建てを見据えて削除しましたが、防災や防犯、交通安全というものに関しては、基本目標 4 の魅力的な地域をつくるために、非常に大事なものになってきますので、もし統合できるようであれば統合していきたいと考えています。
平岡会長	大和町としてはこの⑧が結構大事で、それをきちんと大和町としては書いておいた方がいいという考え方もあります。
君ヶ袋委員	総合計画は、国の施策に対して先行型なのか、伴走型なのか、あるいは後追い型なのか、基本的な部分をもう一度考える必要があるのではありませんか。国の構想が少し変わるなどの情報が入ってくると、それが公表されてから考えましようとなりますが、国の施策は代表者が変わるとまた変わります。そうすると、その都度、町自体の未来づくりの進捗が遅れたり、あるいは考えをまた変えなくてはいけなかったりすると、集まって色々な意見をいただいて検討していく中で、きちんとしたまちづくりの柱が出来上がるのか不安になってきます。 大和町独自のまちづくりも必要であり、それを進めていく上での国の補助金も必要ではあります。そういった部分を両方、うまく合わせてやっていくことが事務局皆さんの一番大変なところだと思いますが、町長はじめ、我々としてはこういうまちづくりをしたいというのはきちんと表していくべきだと思います。
事務局 (鈴木)	総合計画自体は国の施策に沿って作成するものではなく、町独自で作成するものにはなっています。ただし、総合戦略については、市町村の地方版総合戦略の上に、県・国の総合戦略もあり、地方版総合戦略はそれを踏まえて策定することとなっています。 なお、この総合戦略は地方創生の補助を受ける上では必要なものになりますので、確かに縛られるところはあります。
平岡会長	それでは、会議全体を通して、資料 1、資料 2 を通しての細かいところでも、大まかなところでもいいので、何かご意見があればお願いいたします。
荒木委員	分野別施策について、農林漁業とか商業、工業と分かりやすく表示されているということで、良い形で改定されていくんだなということを最初に感じる事ができました。 社会教育委員という立場から言いますと、まほろばホールでは、町民の皆さんのためにいろいろな先生を招いて、幅広い年齢層に講演いただいていることに対して感謝はしています。しかし、まほろばホールで実施している事業をはじめ、病院通いなど、個人的には、免許を返納した後の交通手段について、常日頃考えています。デマンドタクシーなどがありますが、もう少し充実した利用しやすい手段がさればなと感じています。 また、計画を策定した後の次の段階として、どのように計画を実現していくかが重要ですので、その進行管理など工夫していただきたいと思います。
内田委員	交通については私も感じており、全ての項目において交通が大切になってくると思います。ある高校生は 10～20 km離れた学校まで自転車で通っていて、雨の時はびしょ濡れになっています。バスを利用しようとも、泉中央まで行くのが日中だと 2 時間に 1 本しかありませんので、結局学校の時間には間に合いません。

内田委員	また、新しい家を探していた方が、しあわせの杜を考えていたようですが、仙台駅まで仕事に行くことを考えると除外されてしまいました。今は共働きの家庭が多いので、大和町から仙台市中心部に働きに行くための足が必要と考えます。
平岡会長	ありがとうございます。 教育の話が沢出ましたが、安藤委員はいかがでしょうか。
安藤（真）委員	教育現場では、子どもの居場所づくりが重要と考えています。 私もワークショップを2回見学しましたが、子育てをしている方や高校生の意見が強かったと思います。要望も結構あり、交通機関や娯楽施設を作ってほしいなどの意見がありました。 それを言っている人たちが、このまま残ってくれるかという、もしかしたらそういうものを整備しないと、それを求めて出て行ってしまいかもかもしれません。ふるさとに戻って自分たちがそれを築いていく側になればいいのですが、出て行ったままということを考えると、そういった意見を尊重していかなければいけないのではないかと思います。 子どもたちを小・中学校の義務教育の中で育てていくのが大切ではありますが、計画という段階では、そういうところも踏まえていただければと思います。
安藤（宏）委員	町内から仙台市・塩釜市等に通っている高校生がいますが、せっかく黒川高等学校が町内にあるので、定員割れしないような対策が必要ではあると思いますか。 あと、工業団地が完売でこの道路状況ですので、今後、工業団地の整備や企業誘致を進める上では、並行して渋滞対策も必要になってくると思います。 また、市街化調整区域に対して規制を緩和することなのですが、具体的にはどういった方法で緩和する考えでしょうか。
事務局（鈴木）	例えば、地区計画等である程度の区域を指定して、住宅のみ建築可能にするような制限緩和を設けるという考えもあります。あくまで地域コミュニティの維持が目的であり、市街化調整区域の性格を変えない範囲で、何かしらの解決策を検討していきたいと考えております。
安藤（宏）委員	これから更に人口が減っていく中で、メリットがあるのかなと感じます。いくら緩和しても、今度は空き家が沢山出てくると思います。
浅野町長	人口増加まではいかないまでも、地域を守ってもらえるだけの方、そういう方々の住める場所を用意したいと考えています。
平岡会長	最後のページの地域別まちづくり方針図と国土利用計画の見直しの議論が次回にあると思いますので、そこでも話題になるかもしれません。
今野委員	観光はとても幅が広いので、どういったことが求められているのかを知りたいと思っています。本陣案内所では、ガイドが大和町の歴史を勉強していますが、お客さんも少ない中で、披露する場もなかなか持てないというのが課題であり、ジレンマを感じています。 今回、「三宿サミット」がきっかけとなり、遠くから来るお客さんも増えました。宮床地区も沢山見ていただいて、そこそこ資源が沢山あるんだなと評価していただいたと感じておりますが、それに伴って資源を守る活動も課題になっていました。

	あと、お客さんが言っていたのが交通で、仙台市からここに来るのにどういったものがありますかというのを聞かれることがあり、高速バスしかなく、それも1時間1本ぐらいしかないので、交通の面をもう少し良くしたらいいかなと思っています。
平岡会長	石渡委員からは何かありませんか。
石渡委員	トヨタ自動車のハイブリッドカーのバッテリー会社の規模は、町内の宮城工場が一番大きく、現在1,700人程の従業員が従事しております。行く行くは、町一番の企業になりたいと思います。 子どもたちがものづくりから離れていると感じておりまして、発明クラブの子どもたちに会社に来てもらい、ラインを見せて子どもたちに電池の面白さを伝えています。ジュースや果物で電池がつくれ、そういったものでモーターを回したり、電気を点けたりして興味を持っていただいております。 ゆくゆくは育った子どもたちが入社してくれると嬉しく、町内雇用の創出に努めていきたいと考えております。
浅井委員	大和町のことについて勉強不足だと皆さんの話を聞いて思いました。 吉岡では近くにコンビニ、スーパー、病院があり、歳をとっても歩いて暮らせると思いますが、鶴巢小鶴沢や吉田升沢は大変だと思います。 また、黒川高等学校の定員割れについてはショックでした。自分たちの時代は定員割れなんてありえなかった。黒川高等学校の魅力をもっと出していけるような地域にしていってほしいと感じました。
相澤委員	吉岡地区の図書館整備事業が白紙になったことがショックでした。若い人たちが一番望んだことだと思っています。道の駅が欲しいとのアンケート結果でしたが、また白紙になってしまったら、若い人たちは大和町にどんな魅力を求めるのか不安になりました。 また、農業を継ごうにも、吉岡から吉田は新規就業にならず、いろいろな補助対象にならないということが実際にあるようです。国の政策では新規就業になり、機械購入に対し補助を受けられるみたいですが、大和町では受けられないと伺っています。 あとは、交通の面で吉田地区も免許返納する方が多くなれば、その方たちをどのようにサポートしていくのか、地区の社会福祉協議会と一緒に考えています。
菅原委員	宮床地区の中でも、場所場所により温度差があり、考え方も違ってきます。民生委員・児童委員協議会の宮床地区の会長になり、そういうことをなくすためにはどうしたらいいのかと考えながら、今度、タクシーとバスの乗車体験を企画しています。高齢者の方に自分たちが説明できるようにしないと、聞かれても答えられないというのが現状です。 社会福祉協議会でも「宮床地区のお宝は何だろう」というお宝発見の企画もしようとしています。 住んでいる中でどこが良いところなのか、何が美味しいのかが全然分からなかったが、社会福祉協議会で色々な企画をしていただいているおかげで勉強になっています。

平岡会長	その他、言い足りないことなどがあればお願いします。 ないようですので、議事は以上になります。本日の議事を振り返り、町長から一言お願いいたします。
浅野町長	本日、委員の皆さまから貴重なご意見をいただきまして感謝申し上げます。皆さまからいただいた貴重なご意見を参考にさせていただきながら、総合計画の改定、そして、更なる町の発展のために邁進していく所存でございますので、今後ともご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 一つ情報提供になりますが、交流人口を増やしたいということで、今年から自転車を使ったまちづくりを進めています。7月には日本自転車連盟が主催する全国的なJOCの大会が本町で開催されまして、約500名の選手に来ていただきました。 その第2弾ではありませんが、22日から3日間、東北総合スポーツ大会の自転車競技が総合運動公園で開催され、また、日曜日には吉田地区を9周回るロードレースの大会も開催されます。400名くらいの方が、町内近郊に泊まるのではないかと思います。 そして、役場の北西ですが13階建てのビジネスホテルの建設工事が始まっており、2027年2月の完成予定となっています。加えて、他にも数社の動きがあり、出張者向けを見込んでの建設と聞いています。 週末にもいろいろなイベントで利用いただけるようなものも、これから企画をしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。 本日は大変ありがとうございました。
平岡会長	それでは、本日の議事は以上となりますので、事務局へお返しいたします。
事務局 (遠藤)	本日は、委員の皆さまから、数多くのご意見をいただき感謝申し上げます。
	4. その他
事務局 (遠藤)	次第「4. その他」ということで、2点ほど事務局よりご説明申し上げます。
事務局 (鈴木)	次回開催時期及び内容、意見書の提出について説明
事務局 (遠藤)	只今、事務局から説明がありましたが、皆さまから何かご質問はございますでしょうか。
	特になし
事務局 (遠藤)	無ければ、閉会に移らせていただきます。
	6. 閉会
事務局 (遠藤)	以上をもちまして、令和7年度第1回総合計画審議会を閉会いたします。大変ありがとうございました。

以上

上記のとおり相違ないことを証するためここに署名いたします。

議事録署名委員

大和町総合計画審議会 会長 : 平岡 善浩

大和町総合計画審議会 委員 : 若生 昇